

## 第 20 回猪名川部会（2003.10.9 開催）結果報告

2003.10.17 庶務発信

開催日時：2003 年 10 月 9 日（木） 16：00～19：40

場 所：天満研修センター 305 ホール

参加者数：委員 6 名、河川管理者 10 名、一般傍聴者 50 名

### 1 決定事項

- ・とりまとめの修正については、委員の意見をもとに部会長、田中リーダーに一任する。
- ・各委員は、整備内容シートについての追加、修正意見を 10/15 の作業部会に間に合うように提出する。
- ・各委員は、「猪名川部会とりまとめ（案）031009」への追加・修正意見を提出する。本日の議論と委員からの意見を踏まえて田中リーダーが案を修正、再度委員へ送付、部会長が最終的に確認した上で 10/29 の第 26 回委員会に提出する。

### 2 審議の概要

委員会、他部会の状況報告

資料 1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、委員会、部会及び意見書とりまとめ作業部会の開催状況等が説明された。

基礎原案に対する意見書とりまとめに向けた意見交換

）整備内容シートについて

資料 2-1-1「整備内容シート（猪名川関連部分）に関する意見（作業部会案）」および資料 2-1-2「『具体的な整備内容シート』に関する委員意見（猪名川関連部分）」を用いて意見交換が行われた。「河川レンジャーについては、猪名川の特性をふまえた独自の人材像を早急に検討する必要がある。」「単なるインタープリターではだめで、実効性が必要」等の意見が出され、「1 決定事項」の通り決定した。

）部会とりまとめについて

資料 2-2「猪名川部会とりまとめ（案）031009」を用いて意見交換が行われ、上記「1 決定事項」の通り決定した。主な意見は以下の通り。

<主な意見>

- ・狭窄部の浸水被害解消の目標とする計画降雨レベルについては、「さらに検討を要する」という提案にとどめるしかできないのではないか。
- ・ダムおよび狭窄部についてどのようにまとめるか再度意見を提出してほしい。（田中リーダー） など

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 2 名から「銀橋の狭窄部は岩倉峡や保津峡等とは事情が違うことをふまえて、開削の可能性についてもう少し踏み込んだ意見を出せないか。また、堤防強化を最優先と言うが、これまで脆弱な堤防を造ってきましたということを事業者が認めても良いのか?」「銀橋狭窄部については、部分的な開削の可能性について治水の専門家と検討すべき。また、河川管理者に議論を深めるための円卓会議を要請したところ拒否された。この意見聴取の姿勢には納得できない。議論を深めていけるような意見聴取にして欲しい」等の発言が出された。これに対し、委員から「まだ不十分なところも多いが、委員会の提言を受け、河川管理者が様々な意見聴取の試みを実施しようとしていることは評価できる。また、委員会側では議論を深めるため、対話集会を何度も開くべきと提言している」「やり方を上から（河川管理者側だけで）決定するだけでなく、一般からの要請を聞くことも重要だ」等のコメントがなされた。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。